

日本フンボルト協会 2022年度第3回常務理事会議事録

日時：12月17日（土）14時から17時

形態：オンライン会議

出席者：伊藤理事長、縣副理事長、浅田副理事長、居城先生（北海道支部長）、伏木先生、広渡先生、岡林先生、坂越先生（中四国支部長）、櫻田先生、高橋宗五先生、高橋義人先生、高橋輝暁先生、高山先生、鰐田先生、山本先生、和田先生（中部支部長）、関映子（事務局）

《議題》

(1) Covid-19 第七回オンラインシンポジウム（9月17日（土）について）

テーマ：「Globalism, Nationalism, そして Localism」

講演者：城山英明氏（東大法学政治学研究所）、川村陶子氏（成蹊大学文学部）

参加者：36名（DAAD友の会会員も参加）

- 縣副理事長（企画担当）から上記オンラインシンポジウムについて報告があった。また、今後の予定についての説明があり、審議の結果、北海道支部から提案されたウルフ・ディビッド教授（北海道大学、フンボルト賞受賞者（下記参照））の講演会を、本協会主催で本年度中（2023年3月予定）に行うことになった。その他の企画案については、引き続き調整のうえ、順次開催することになった。

（受賞内容）

研究課題：「20世紀ロシアのアジアにおける活動の歴史」

受賞者：ウルフ・ディビッド（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

授賞式：2023年6月ベルリンにて開催（ドイツ大統領主催の晩餐会）

(2) ドイツ研究留学説明会（2023年3月25日開催）（鰐田先生、高山先生）

- 資料1に基づき、留学説明会担当の高山常務理事から留学説明会の説明があった。また、自主製作パンフレット（「フンボルト奨学金応募の手引き」（東大大学院 藤原素子氏とフンボルト元奨学生山田雅俊氏作製）（資料2）の扱いについて、留学説明会での言及や協会HPへの掲載等を含め、原案通り承認された。
- 鰐田常務理事から、留学説明会の運営全般についての説明があり、今後の運営に反映させるために、3月25日（オンラインで開催予定）の留学説明会時に行われるアンケートの結果等を踏まえ、留学説明会担当者で意見交換し、常務理事会に提案することになった。

(3) 来年度の総会・講演会について

- 審議の結果、2023年度総会は下記の要領で開催されることになった。
日時：2023年6月10日（土）14時から
開催形式：ハイブリッド（オンライン、対面併用）形式を予定
会場：東京を予定（コロナ感染状況等を考慮し、会場については引き続き検討を行う）
- プログラムは概ね例年通りとし（資料3参照）、講演会については、引き続き講演者の選定を行う。2022年度シーボルト賞受賞者の合田圭介教授（東京大学）に講演を依頼する方向で調整中。⇒⇒⇒その後、合田先生に講演のお願いをしたところ、快諾していただきました。
- 留学説明会の総会同日開催については、本協会主催の留学説明会（3月25日開催）やDWIHによる若手研究者向けイベント（4月27日開催）が予定されていることから、行わないことになった。

(4) 役員改選にむけて（任期2023年度総会から2025年度総会まで）

- 現状の理事および評議員数（資料4-2参照）に基づき、また、「役員（顧問を除く）再任に関する理事会申し合わせ事項」（資料4-1参照：役員改選に関して、75歳以上の者は、再任を希望しないものとする。）を踏まえて、各支部で人選を行うことになった。
- 次回の常務理事会までに、各支部長より候補者推薦リストを本部に提出することになった。
この件については、まずは理事長が役員に留任退任の意向を照会する文章を作成することになった。

(5) ドイツ・フンボルト財団主催のフンボルトコロキウム（11月16日～19日開催）について

- プログラム（資料5-1）および参加状況（資料5-2）について事務局から報告があった。

フンボルト財団によるオンラインのプラットフォームを高く評価するとの感想が寄せられる一方で、参加した若手研究者や本協会会員の参加が、当初の予定よりも少なかったとの報告があった。

(6) 日独共同研究奨学金について

1) 同奨学金辞退について

- 2022年度採択プロジェクト（以下参照）の申請者（白岩会員）から、助成対象者の一身上の都合から、同プロジェクトの実施が困難となったため、奨学金を辞退したい旨の申し出（2022年11月11日付）があった。本件の対応を常務理事間で協議した結果、奨学金全額返還が了承された。

申請者：白岩善博会員（筑波大学名誉教授、植物代謝生理学）

研究テーマ：『ハプト藻類の日本発形質転換技術による炭酸カルシウム結晶細胞殻形成の分子機構の解明』

助成対象者：Ekta Kumari (PhD, Postdoc, Fakultät Biologie, TU Dresden, Biomineralisation)

2) 日独共同研究奨学金辞退の申し出に関する手続き（内規）（案）について

- 今後、奨学金辞退という事例が生じた場合を想定し「日独共同研究奨学金辞退の手続き」（内規）について審議し、文言修正のうえ、原案通り承認された。（資料6）

(7) 日独共同研究奨学金基金（縣先生）と財政安定化基金の会計（高橋宗五先生）

- 日独共同研究奨学金基金および財政安定化基金について、縣副理事長から、（資料7）に基づき同奨学金基金の会計状況の説明があり、原案通り承認された。

(8) 会計について 途中経過の報告（高橋宗五先生）

- 会計担当の高橋宗五常務理事会から、（資料8）に基づき、一般会計の説明があり原案通り承認された。
- 寄附口座については、以下の原則に基づき対応することになった。
 - ① 本協会員から、寄附する旨の意思が明記されている場合は、寄附口座に振り替える。
 - ② 寄附などの意思が不明の場合は、改めて事務局から確認する。
 - ③ 故人の遺志などによる寄附の場合は、その旨、総会などで寄附者氏名について言及する。
- 年会費長期未納の会員の今後の扱いについて（資料9）
該当する会員に対しては、以下の手順で対応することになった。
 - ① 改めて会費納入のお願いを理事長、各支部長連名でメールする。
 - ② 返事のない会員については、改めて会員継続の意思を確認する。
 - ③ 会員継続の意思確認ができない場合には、退会等を前提に対応する。

(9) 各支部より報告（各支部長）

- 各支部長より支部活動および今後の予定に関する報告があり了承された。（資料10）

(10) その他

- 次回の常務理事会の日程について

2023年3月18日（土）14時からオンラインで開催。

(以上)